



# 隈府小だより

学校教育目標「自ら考え なかまと高め合う 隈府小  
～ 明日が楽しみな学校をめざして ～」

隈府小学校  
学校だより No.4  
文責 芹川博文  
5月1日(金)

## 新たな挑戦が「心の体幹」を鍛える ～ 6年生の教室から聞こえてきた俳句から ～

6年生の教室を通っていた時、「春風や・・・」と、右の俳句を詠む声が聞こえてきました。今の季節にピッタリの句。背筋が伸びる思いがしました。

新たに挑戦する時、不安はつきものであり、上手いかなことも常です。私自身、いくつかの「壁」も経験しました。例えば、小中高と続けた柔道では、昇段試験に7回目（高校最後の総体前）で、やっと合格しました。つまり、6回は不合格でした。家に帰って結果を伝える度に、父親の「よかよか。次頑張れ」の言葉と、受験料も高かったため申し訳なく思ったことを、今でも覚えています。しかし、今になって振り返ると、あの時の悔しさや不甲斐なさ、努力したからといって結果がすぐに出るとは限らない現実の厳しさを味わった経験は、その後、確実に生かされたと感じます。

挑戦する度に、人は成長します。ですから、子どもたちにも是非、たくさん挑戦し、成功体験で自信をつけることも、上手いはず落ち込み悩む経験も、大切にしてほしいと思います。その度に「心の体幹」が鍛えられ、しなやかで、たくましい心になっていくことでしょう。春風の中、思い描く将来の自分。新たな一歩を大切に。



春風や 闘志いだきて 丘に立つ

高浜 虚子

「成功するとか、失敗するとか、僕には関係ない。それをやってみることの方が大事。」

メジャーリーガー 大谷 翔平

※日本ハムファイターズ時代、栗山監督から「説明してくれ。なんでアメリカにいかなきゃいけないんだ」と問われた時、大谷選手が言った言葉

## 無言の声援 地域の方の熱い思い ～ きれいに除草された学校前の道路から ～

「どこの誰かは 知らないけれど・・・」の月光仮面の歌詞が思わず蘇ってきました。それほどの感動でした。隈府小と南中の間の道路（結構長い距離）の草が、きれいに取ってあったからです。日に日に伸びる雑草を見ながら、少しずつでも取っていくしかないな・・・と、思っていた矢先の出来事でした。

役場に問い合わせても分からず、どなたにお礼を言っていないか分かりません。ただ感謝するばかりです。学校を見守っていただき、隈府小や南中を応援していただいている方々の「無言の声援」をいただいた週明けの出来事でした。スッキリした歩道を見る度に力が湧いてきます。本当にありがとうございました。



## 「一粒の種」に思う 可能性の大きさ

朝の始業前、1年生がベランダで熱心に水をかけていました。見ると、青いポットにはアサガオの双葉。そうです。先日の授業参観で保護者の方と植えたアサガオが一斉に芽を出していました。

種は不思議です。小さな一粒の種から、その花や野菜などの芽が出て、どんどん育って大きくなります。

ただ、その種にも時期があります。「まだ出て来ん。」と言って、ほじくり返して種の殻をむいたらダメです。その種のタイミングで

「よいしょ」と殻を破ります。誰も見ていない夜に芽を出すようです。種に秘められた力で。

子どもたちの成長とも重なります。その子のタイミングがあります。同時に、その時々への支えも必要です。支柱をつたって伸び、たくさんの花を咲かせるアサガオを思い浮かべました。

